

目次

領域	単元番号	単元名	ページ	年間予定	学習日	復習日	理解度(○△×)
計算基礎	1	倍数と約数	4		/	/	○ △ ×
	2	分母のちがう分数	6		/	/	○ △ ×
	3	分数のかけ算	8		/	/	○ △ ×
	4	分数のわり算	10		/	/	○ △ ×
式の計算	1	正負の数の加減	12		/	/	○ △ ×
	2	正負の数の乗除	15		/	/	○ △ ×
	3	正負の数の四則計算, 素数の積	18		/	/	○ △ ×
	4	文字式の表し方	21		/	/	○ △ ×
	5	文字式の計算①	24		/	/	○ △ ×
	6	文字式の計算②	27		/	/	○ △ ×
	7	単項式と多項式・式の乗除	30		/	/	○ △ ×
	8	式の加減	33		/	/	○ △ ×
	9	式の利用	36		/	/	○ △ ×
	10	式の展開	39		/	/	○ △ ×
	11	式の展開の利用	42		/	/	○ △ ×
	12	因数分解	45		/	/	○ △ ×
	13	因数分解の利用	48		/	/	○ △ ×
	14	平方根	51		/	/	○ △ ×
	15	平方根の計算	54		/	/	○ △ ×
	16	平方根の計算の利用	57		/	/	○ △ ×
方程式	1	方程式の解法	60		/	/	○ △ ×
	2	方程式の利用①	63		/	/	○ △ ×
	3	方程式の利用②	66		/	/	○ △ ×
	4	方程式の利用③	69		/	/	○ △ ×
	5	連立方程式の解法①	72		/	/	○ △ ×
	6	連立方程式の解法②	75		/	/	○ △ ×
	7	連立方程式の利用①	78		/	/	○ △ ×
	8	連立方程式の利用②	81		/	/	○ △ ×
	9	2次方程式とその解①	84		/	/	○ △ ×
	10	2次方程式とその解②	87		/	/	○ △ ×
関数	1	比例	90		/	/	○ △ ×
	2	比例とグラフ	93		/	/	○ △ ×
	3	反比例とグラフ	96		/	/	○ △ ×
	4	1次関数とグラフ	99		/	/	○ △ ×
	5	直線の式	102		/	/	○ △ ×
	6	2元1次方程式とそのグラフ	105		/	/	○ △ ×

領域	単元番号	単元名	ページ	年間予定	学習日	復習日	理解度(○△×)
中学1年生の図形	1	平面図形の性質	108		/	/	○ △ ×
	2	作図	111		/	/	○ △ ×
	3	いろいろな立体とその見方	114		/	/	○ △ ×
	4	空間の位置	117		/	/	○ △ ×
	5	体積・表面積	120		/	/	○ △ ×
中学2年生の図形	1	平行線・多角形と角①	123		/	/	○ △ ×
	2	平行線・多角形と角②	126		/	/	○ △ ×
	3	合同と証明	129		/	/	○ △ ×
	4	二等辺三角形の性質	132		/	/	○ △ ×
	5	直角三角形	135		/	/	○ △ ×
	6	平行四辺形	138		/	/	○ △ ×
	7	特別な平行四辺形	141		/	/	○ △ ×
統計・確率	1	資料の活用	144		/	/	○ △ ×
	2	データの分布	147		/	/	○ △ ×
	3	確率	150		/	/	○ △ ×
演習編	1	正負の数	153		/	/	○ △ ×
	2	文字式	156		/	/	○ △ ×
	3	式の計算	159		/	/	○ △ ×
	4	数と式の計算	162		/	/	○ △ ×
	5	1次方程式	165		/	/	○ △ ×
	6	連立方程式	168		/	/	○ △ ×
	7	方程式	171		/	/	○ △ ×
	8	比例・反比例	174		/	/	○ △ ×
	9	1次関数	177		/	/	○ △ ×
	10	中学1年生の図形	180		/	/	○ △ ×
	11	中学2年生の図形	183		/	/	○ △ ×
	12	資料の活用	186		/	/	○ △ ×
	13	データの分布, 確率	189		/	/	○ △ ×

1 正負の数の加減

★ 要点のまとめ

1 加法の計算法則

- 加法の交換法則……加法の計算では、加えられる数と加える数を入れかえても、和は変わりません。

$$\square + \circ = \circ + \square$$
- 加法の結合法則……加法の計算では、どの2数の和から計算し始めても、和は変わりません。

$$(\square + \circ) + \triangle = \square + (\circ + \triangle)$$
- 加法だけで表した式の、+で結ばれたそれぞれの数を、その式の項といい、項のうち正のものを正の項、負のものを負の項といいます。

2 かっこのつかない計算

- 加法だけの式では、加法の記号+とかっこを省き、式の項だけを並べて表すことができます。

$$(-16) - (-25) + (+7) - (+19) = -16 + 25 + 7 - 19$$
- ※ $-16 + 25 + 7 - 19$ の形の式でも、交換法則、結合法則を使って計算することができます。

例

$$\begin{aligned} \text{① } 11 - 8 + 5 \\ &= 11 + 5 - 8 \\ &= 16 - 8 \\ &= 8 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{② } 7 - 5 + 4 - 11 \\ &= 7 + 4 - 5 - 11 \\ &= 11 - 16 \\ &= -5 \end{aligned}$$

3 3数以上の加減 I

- 加法と減法が混じった式では、減法が加法に直せることから、加法だけの式に直すことができます。

◆かっこのはずし方◆

- ① かっこの前が+のとき……かっこ内の数の符号を変えずに、そのままかっこをはずす。
- ② かっこの前が-のとき……かっこ内の数の符号を変えて、かっこをはずす。

例

$$\begin{aligned} (-1) - (-4) + (-9) - (+2) &= -1 + 4 - 9 - 2 \\ &= -1 - 9 - 2 + 4 \\ &= -12 + 4 \\ &= -8 \end{aligned}$$

4 3数以上の加減 II

例

$$\begin{aligned} \text{① } -2 + (-17) - (+9) + 13 \\ &= -2 - 17 - 9 + 13 \\ &= -28 + 13 \\ &= -15 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{② } -3.8 - (+1.5) - (-6.3) \\ &= -3.8 - 1.5 + 6.3 \\ &= -5.3 + 6.3 \\ &= 1 \end{aligned}$$

1 加法の計算法則

学習日 月 日

次の計算をなさい。

(1) $(+3) + (-1) + (-7)$



(2) $(-4) + (+2) + (-9)$



(3) $(+1) + (-6) + (+8)$



(4) $(+7) + (-5) + (-3)$



(5) $(+8) + (-4) + (-6)$



(6) $(+5) + (-2) + (-3)$



(7) $(-8) + (+1) + (-9)$



(8) $(-7) + (+8) + (-4)$



2 かっこのつかない計算

学習日 月 日

次の計算をなさい。

(1) $-8 + 1 + 3$



(2) $7 - 9 + 5$



(3) $9 - 5 - 4$



(4) $-5 - 5 + 8$



(5) $-2 + 4 - 9$



(6) $-6 + 2 + 5$



(7) $3 + 6 + 7 - 9$



(8) $-2 - 9 + 5 + 3$



(9) $7 + 9 - 6 - 9$



(10) $-1 + 3 - 1 + 7$



(11) $4 - 2 + 1 - 8$



(12) $6 + 1 - 7 + 4$



1 正負の数の意味

学習日 月 日

次の問いに答えなさい。

 (1) 200円の利益を「+200円」と表すと、300円の損失はどのように表されるか。

 1

 (2) 次の数の絶対値を答えなさい。

① -5

 1

② -1.6

 1

③ $-\frac{2}{7}$

 1

 (3) 絶対値が $\frac{3}{2}$ よりも大きく、4よりも小さい整数をすべて答えなさい。

 3

 (4) 次の空欄にあてはまる不等号を答えなさい。

① $-6() - 7$

 1

② $-2.4() - 24$

 1

③ $-\frac{3}{2}() + \frac{2}{3}$

 1

2 正負の数の加減, 乗除

学習日 月 日

次の計算をしなさい。

(1) $(+7) + (-9)$

 1

(2) $(-5) - (+2)$

 1

(3) $(-8) - (-3)$

 1

(4) $-7 + 12$

 1

(5) $-8 - 12$

 1

(6) $-1.8 + 2$

 1

(7) $-\frac{2}{5} + 0.8$

 2

(8) $-3 + 5 - 6$

 1

(9) $3 - (-9) + (-2)$

 1

(10) $3 \times (-5)$

 1

(11) $-18 \div 3$

 1

(12) $-52 \div (-13)$

 1

(13) $4 \times (-6) \div 3$

 1

(14) $-20 \div 4 \times (-9)$

 1

(15) $-56 \div 7 \div (-2)$

 1

(16) -6^2

 1

(17) $-3^2 \times 2$

 2

(18) $-16 \times (-8) \div (-2)^2$

 2

3 正負の数の四則計算

学習日 月 日

次の問いに答えなさい。

 (1) 次の計算をしなさい。

① $-7 \times 3 + 6$

 1

② $17 + 4 \times (-5)$

 1

③ $(-2 + 4) \times 9$

 1

④ $20 \div (-4) + 13$

 1

⑤ $-8 + 48 \div (-6)$

 1

⑥ $-15 \div (-5 + 2)$

 1

⑦ $-7 \times 4 + (-24) \div 3$

 1

⑧ $-9 - (3 - 8) \times 4$

 2

⑨ $-4^2 - 10 \times (-2)$

 2

 (2) 右の表は、A~Fの6人の生徒の身長を調べ、160cmとの差を正負の数を用いて表したものである。6人の身長

 3

の平均を求めなさい。

生徒	A	B	C	D	E	F
160cmとの差(cm)	0	-2	+7	-4	+6	-1

4 素因数分解

学習日 月 日

次の問いに答えなさい。

 (1) 次の数を素因数分解しなさい。

① 56

 1

② 81

 1

③ 200

 1

 (2) 225 はどんな自然数の2乗か。素因数分解を利用して調べなさい。

 5